

平成 24 年度日本財団助成事業

松枯れ林地再生プロジェクト

水源の森づくりと 200 年の森づくりデザイン

主 催：NPO 法人赤城自然塾

後 援：前橋市

協 力：国立赤城青少年交流の家、(有)リポーン、NPO エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン、
赤城南麓森林組合、ぐんま森林インストラクター会、NPO 法人ぐんま緑のインタープリター協会、
サンデンフォレスト

日 時：平成 24 年 12 月 8 日(土) 10:30~16:00

場 所：室沢交流の森 (前橋市粕川町)

参加者 : 75 名 別紙参加者リスト参照

時 系 列 別 報 告 書

8:30 ぐんま森林インストラクター会、サンデンファシリティ ECOS グループ、赤城自然塾
森の教室集合、森づくり作業準備

10:30 受付開始 森の教室にて (担当:小島、小林)弁当、お茶、資料配布

10:40 東京から天ぷら油(BDF)バス到着 受付済み後森の教室へ



10:45 赤城自然塾紹介映像 スイッチオン

11:10 セバン・カリス・スズキの伝説のスピーチ(1992年リオサミット会場での) スイッチオン



11:15 開会挨拶 石倉 利雪 (赤城自然塾監事、サンデンファシリティ株式会社社長)

サンデンフォレスト紹介ビデオ上映

お話:200年の森づくりデザイン事業

お話:松枯れの取り組みと森林の役割

お話:森林土壌のについて

お話:森づくり作業について

挨拶:東京関係者代表 吉岐 健一郎 氏

岡田 茂 氏 サンデンファシリティ株式会社

大松 稔 氏 ぐんま緑のインタープリター協会

田中 洋助 氏 ぐんま森林インストラクター会

塩田 政一 氏 ぐんま森林インストラクター会

石塚 征人 氏 赤城南麓森林組合

NPO エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン



(以上のお話を聞きながら、昼食)

12:25 集合写真、作業班毎に集まり班長の指示の下、室沢交流の森作業現場へ移動



(移動車両：東京からのバス、サンデンのバス、サンデンステップワゴン、自車 班別名簿参照)
班長の指示下で作業開始

(伐採体験・見学、マキ割り体験、下刈り、チェーンソー体験、大鋸切り体験、チップング、)



14:25 移動車両にて正面玄関 西ピオトープへ

サンデンフォレストの散策

(リサイクルセンター、サワガニの川、どんぐり広場、オオムラサキ/天蚕、自販機ミュージアム)



15:40 移動車両にて森の教室へ

15:55 プログラム終了 解散 東京へ



* 東京からの皆様が日帰りになったため、群馬地区参加者募集チラシに記載したプログラム、 は中止とした。

午前中は小春日和の天気でしたが、午後作業に着手する時点では急変し、大変寒い真冬のような天気になりましたが、参加者は森林作業体験に楽しく取り組んでいました。

東京からの参加者も地元参加者も積極的に作業している様子が印象的でした。

講師の方々のお話、指導もわかりやすく、水源の森づくりの大切さが体験を通して理解され、「このような企画があれば、次回も是非参加したい」との発言もありました。

今後も、森づくりの大切さの理解者を増やし、実践を通じた上下流域市民による水源の森づくりを続けていきたいと思えます。